

月刊

リサイクルデザイン

地球が与えてくれた贈り物を大切に
リサイクル社会の実現をめざしたい

リサイクルデザインは、横浜市内の資源回収業者の組合(135業者が加盟)による、市民と組合員にリサイクルの情報・回収の実情を伝えるための情報誌です

資源循環型社会へ
近づいて行く道

七月二十六日に横浜市鶴見区で行われた『古紙リサイクル勉強会』に行ってきました。これは神奈川県資源回収商業協同組合青年部の皆さんが、古紙問屋や回収業者、そして回収団体の人たちとざくばらんに話し合いたいということので企画したものです。

第一回ということで、参加人数が少ないかもしれないと聞いていたのですが、主婦三人を含め十二名が参加、講師側の豊富な資料と皆さんの熱心な態度に驚かされました。参加者の顔ぶれも多様で、古紙を扱っている業者さんの他に、鉄や非鉄金属を扱っている業者さんもいたため、興味の範囲が基礎知識から専門知識にまで及

び、二名の講師(横浜の古紙問屋の方と横須賀の事業組合理事長)も苦勞なさっていたようでした。

勉強会は、そもそも古紙のリサイクルとは何か、という単純なテーマからスタートしました。実際に持参した厚紙を前にしての説明に、全員納得した様子でした。また話の中では、身近な問題である、回収に出せない『禁忌品』についての説明と、トイレレットペーパーや事務用のリサイクル紙など『古紙利用』についての話が、皆の関心を集めていました。一つ一つ禁忌品に指定されている理由を説明していただけてよくわかったのですが、禁忌品について、改めて正しく伝わっていないことを知



り、製品の質を上げるためにも、広く宣伝する必要があると感じました。また、古紙リサイクル業に携わっている人たちの中にも、役所へ出す書類や大事な手紙は古紙ではなくバージンパルプを使うという『白い紙神話』が根づいていることも知りました。

各自自治体が予算の切り詰めを進める中で、行政・業者・市民が一体となって、粘り強く奨励金の増額運動を続けて行かなければならないことを実感しました。

ゴミ減量・古紙の資源化、売上金の獲得、地域のコミュニケーションは、言ってみれば集団回収の三本柱で、どれがおろそかになってもうまく行きません。発生段階での分別、古紙(特にトイレレットペーパー)の利用促進、できるだけ多くの市民の集団回収への参加、業者・問屋サイドの意識改革……そういった一つ一つを実行していくことが、不況の下でも『資源循環型社会』へ近づいて行く道だと思っています。

勉強会の最後に参加者の一人が言っていた、「まだまだ知らないことも多いのに気づきましたし、今日の勉強を生かして、これから回収の継続に力を入れていきたい」との言葉が印象に残りました。

(エアバック)

これからの古紙リサイクル どうしていったら いいのだろう？

五月三十一日に行われた、第四回リサイクルデザインフォーラムに寄せられたアンケートをご紹介します。フォーラム参加者は一四二名、アンケート回収率は前回より約七パーセント高い三七パーセントでした。

その内容は様々でしたが、参加いただいた方それぞれがリサイクルに関心を持っていてくださることが感じ取れました。ご意見をありがたく受けとめ、これからの活動に生かして生きたいと思えます。

ご協力いただいた方に感謝致します。

- ・再生品を使うようにPRしていくことが急務ですが、究極の古紙リサイクルは、紙の消費を抑える運動がもっと高まることだと思っています。
- ・前回も古紙が安くて困ることでしたが、もう少しよい方法はないのでしょうか。
- ・行政はどっちみち、多大な

ゴミ処理費用を使っているのだから、減量化推進のための費用も支出して、民間まかせでない社会のシステム作りをしていってほしい。

・消費者も自分の目できちんと見て、一〇〇パーセント古紙を使用するよう努力していくようにしなくてはなりません。そのためには、買ってよかったと思うような商品を作ってほしいと思います。

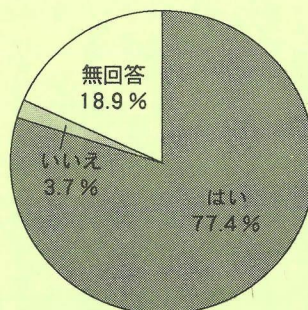
・集団回収の団体を、地域ごとにまとめていく方向にするというと思う。

・ある消費者団体の一員ですが、残念ながらそうした場ですら、古紙は回収に出すことでもう完結するかのような取り組みで終わっています。

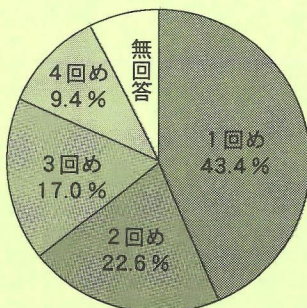
・小学生の生活科でリサイクルについて教えていくといいと思います。小さい時から再生紙を使うことに対する抵抗感をなくさなくては。

・狭い地域で悩んでいるだけ

●今日のフォーラムで古紙業界の現状を実感していただくことができたでしょうか？



●リサイクルデザインフォーラムに参加するのは、何回目ですか？



では解決できないので、市や県、国全体でもっときちんとやっていくべきだと思う。

- ・古紙使用を高める運動をしているが、市販のものにもっと再生紙一〇〇パーセントのものがふえることを望んでいます。紙は無漂白で黒くてもいいということをしてPRしたい。
- ・集団回収を実施している団体の立場としては、少しでも収入が必要という事情もあります。

- ・古紙のトイレットペーパーを使っていますが、それでも古紙リサイクルについてももっと考えなくてはいいかと思えます。また、外国に比べ、横浜市の分別の方法は甘いと思いました。

- ・処理とか分別ということは行政中心でないと不可能だと思います。狭い日本では、スペースの問題など研究して解決しなくてはならない問題が山積みですね。

- ・新聞折り込みのチラシをどうやって減らすか考えていたのだかと思いました。

- ・現状に悩む様子はわかるが、解決する知恵が生まれてこない。

- ・行政・市民・業者の三者会談をしてシステムを作る必要性を感じた。消費者の意識改革もしていかなくてはならない。

- ・講演を聞いて、暮らし方にまだまだ工夫が必要だと思いました。

- ・一般の人はリサイクルしたいという気持ちは持っていると思います。ただ回収の時の出し方・分別方法・出してはいけないもの（禁忌品）・梱包方法などについてよく知りません。具体的に教えてくださいます。

- ・町内会で集団回収をしています。新聞や段ボールがどういう状態で出されると回収しやすいのかということをも

っと教えてほしい。

- ・手間をかけずに再生できるよう、市民に対して分別の仕方についての情報を出してください。

- ・古紙の出し方がまちまちで、どう分別して出すのがいいのか迷います。以前は新聞とチラシを別々に出していました、が、一緒でも良いと言われ、いまでは一緒に出しています。

- ・問屋・回収業者いじめにならないように、一緒に問題を考えていきたい。

- ・行政に、運搬業者として成り立つ方向で考えてもらうと良いのではないのでしょうか。

- ・値段のつかない古紙を、今なお回収していただいていることに感謝しています。

- ・利益が出ないので本当に困っていることがわかりました。これは行政の考え方を考え、利益の出るような方向で考えなければいけないと思います。
- ・古紙業界がもうかっていた

時のことも思い出してほしい。

- ・リサイクルされた製品が使われていないと思います。製品として生まれ変わりがわかってこそリサイクルなのではないでしょうか。ストックされている状態では、ゴミなのです。

- ・古紙価格は原価方式を採用していくべきです。また何でもコピーするのでなく、必要なだけコピーする方向になっていくといいですね。

- ・やはり一人一人の意識が重要である。そして古紙製品の需要が高まれば、コストが安くなる。

- ・このフォーラムに参加して残念に思うことは、参加者は私同様、年配の方が多いことです。若い人がほとんどいません。これが大きな問題です。もっと若い人に自分たちが生きていく上で大切なことだと理解できるようにフォーラムにしてください。

サンフランシスコ ベイエリア クリーン大作戦

アメリカ、カリフォルニア州のサンフランシスコ湾は、非常に汚染が進んでいる。今月はアース・アイランド・ジャーナルの記事の中から、サンフランシスコ・ベイエリアの環境を守る子供たちの話題をご紹介します。

●体験型カリキュラムで汚染を学ぶ

サンフランシスコ湾は汚れている。工場や石油精製工場は廃液を流し、農場や家の庭からは農薬が滲出し、オイル、ペンキ、有害な洗浄液など、さまざまなものが排水溝に流されて、湾へと運ばれる。

その結果、湾の魚や貝は、メチル水銀やPCB、ダイオキシン、農薬などのさまざまな有害物質に汚染されている。こうした汚染物質の消費の拡大により、人体、とりわけ子供の神経毒性やガンの危険が高まっている。サンフランシスコ湾の魚を釣って食べている人の70%以上は有色人種である。こうした釣り人の多くにとって、英語は母国語ではないので、掲示された警告文に湾の魚の安全性について書かれてい

ても理解できない。

毎年、200人以上の生徒たちがエスチャリー・アクション・ネットワーク(EAC)主催の「汚染を減らし、安全な魚を食べるプログラム」に参加している。参加する生徒の90%以上はサンフランシスコ湾の魚を釣って食べている有色人種の子供である。

EACは、体験型カリキュラムと、生徒と一緒に先生も学べるユニークなティーチャー・トレーニングを用いて、湾で捕れた魚の危険性に曝されやすい人々に情報を与えながら、湾の汚染も減らしていく。EACはまた、汚染された湾の魚を食べる際のリスクを減らすための簡単な予防策を釣り人たちに教えている。

EACの教材には食物連鎖における汚染物質の生体濃縮に関するゲームや、7ヶ国語で書かれたピラなどがあ

る。また、魚を食べる家族に対して、安全な魚の料理教室を開催したりもしている。

●地域住民と取り組むクリーンナップ

生徒たちは自分たちが学んだことを母国語に訳し、自分の地域に帰って住民たちに伝える。生徒たちは汚染防止のメッセージを伝えるために、Tシャツ、小冊子、劇、スライド、ポスターなどを作成する。

EACの指導の下、生徒たちは沿岸

地域に配布する情報ピラを作る。生徒たちは地元の埠頭で釣りをしている人に、安全な釣りや安全な料理に関するインタビューを行う。EACの生徒たちはまた、湾に雨水を運び込む排水溝の周りのゴミをきれいに掃除するクリーンナップクラブを、近所の住民や他の生徒たちと一緒に組織する。

生徒たちは自分たちの行った調査から、湾周辺の工場や石油精製工場が、きれいな空気やきれいな水を求めて運動を起こすだけの余裕のない貧しい家庭や有色人種の子供の周辺に多く立地していることを発見した。

生徒たちは、今度は政治家にインタビューしたり、こうした環境的公正の問題を取り扱った劇を上演したりする。中には、汚染企業の社長や政治家に手紙を書く子供もいる。

マイノリティほど環境汚染の被害を被りやすく、それは一種の人種差別であるという「環境的公正」の問題に取り組む団体が、アメリカには数多く存在する。環境と人種という2つの重要な問題を子供と共に解決する手法は、ぜひ日本にも取り入れたいものである。

たかはし・ゆき

横浜・ゴミを考える連絡会代表
「環境教育の現場から」は隔月連載

* 1 Pollution Reduction/Safe Bay Food Consumption Program

出典: Mandi Billinge, "Bay Area Kids Battle Pollution", Earth Island Journal Spring 1998

●コピー用紙 (新聞古紙 100%の再生紙)

平成10年7月現在

サイズ	入数	規格	1・2ケース	3・4ケース	5~9ケース
A4	2500枚	白 (白色度70%)	2,080円	1,980円	1,910円
		ピンク・イエロー・グリーン	3,660円	3,480円	3,120円
B4	2500枚	白 (白色度70%)	3,180円	3,160円	2,780円
		ピンク・イエロー・グリーン サーモン・パープル・ブルー	5,000円	4,800円	4,680円
B5	5000枚	白 (白色度70%)	3,180円	3,140円	2,760円
A3	1500枚	白 (白色度70%)	2,570円	2,540円	2,230円

●コンピュータ用紙

入数	規格	5~9ケース
2000枚	白 (白色度60%)	2,900円

* この他の再生紙については、右記までお問い合わせください。

ご注文は

横浜市資源リサイクル事業協同組合

TEL 045-316-4050 FAX 045-316-6050

▼蚊帳を見直す
伝統的な蚊帳が復活しています。最近の蚊帳は、昔の麻もの（重かった！）に代わって軽い木綿製、色もなかなかきれいです。風流で無害な蚊帳を、大いに使いこなしましょう。

▼緑を活かす
蚊やりに効果があるとされている緑は、蚊逃げ草・バジル・ペパーミントなど。いずれも独特の強い香りが虫を遠のけるのでしょう。これらを部屋の出入り口近くに置いて、蚊の多い夕方になって香りを出すと効果があるようです。切り取った蚊逃げ草は花を添えてテーブルなどに、台所の外側には、バジルなどの鉢をつるし、切り取った葉は料理に！というわけです。我が家では鉢をつるす所が日影なので、二鉢作って交互に陽に当てています。

した構造を持つ化合物で、気管支喘息やアレルギー性鼻炎などの原因となることが報告されています。包装箱に除虫菊の絵柄があっても、中身は合成の場合がほとんど。表示をよく見て、天然ピレトリン系の蚊取線香を、必要なだけ切ってください。

と)が指摘されています。

▼防虫スプレー

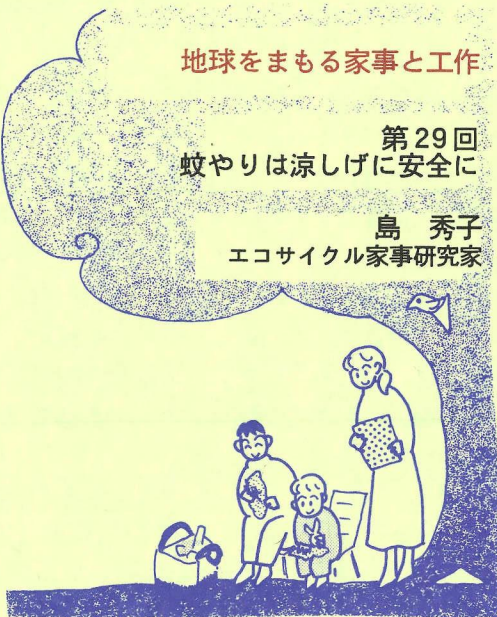
明らかに子ども向けと思われるかわいらしい絵柄の「防虫スプレー(ノンガスタイプ)」を見たら、その成分はデイトでした。これは脳や神経に損傷を引き起こ

すたとされているものです。また、缶入りスプレーには、ほとんどの場合LPガスが含まれています。賢明な自衛策はまず肌を隠すことでしょう。虫さされ薬を手作りすることもできます。

蚊やりは涼しげに安全に！ 化学物質を極力避け、自然を活かした防虫対策を心掛けましょう。

第29回
蚊やりは涼しげに安全に

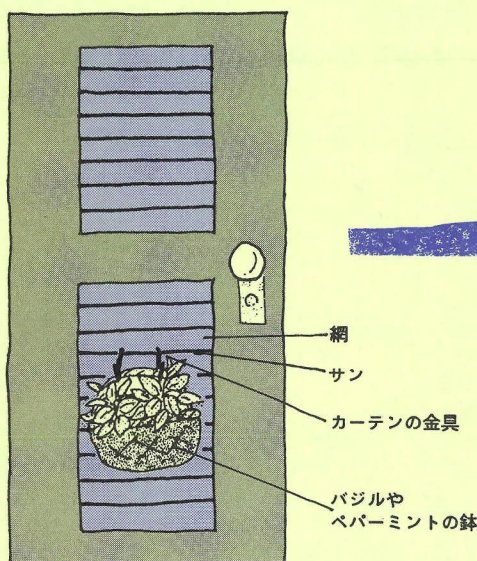
島 秀子
エコサイクル家事研究家



* 1 紀陽除虫菊（和歌山県）
TEL0734・92・0379 価格30巻約900円（東急ハンズなど
にあり）

* 2 できれば黒色系の服装が良い
* 3 手作りの虫さされ対策：薬局
でアンモニア水・ハッカ油を求め
てアンモニア水を規定通り5〜
10倍に薄めた上で、香り付け及び清
涼感としてハッカ油を好みに微量加
える。既製品によるかにか安上ら
ず、毒性のある防腐剤を使わずに済
む（一度にたくさん作らないこと）。

▼マット型蚊取は使わない
マット型の蚊取線香はアレスリン系のものが多く出回っていますが、アレスリンは変異原性（発ガン性）を持つ疑いがあるというこ

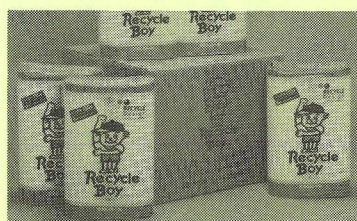


資源回収から生まれた再生紙です。

再生紙を使うことは、
ゴミ減量・森林保護を支え、省エネルギーで経済的。
地球環境を守るためにも、資源回収から生まれた再生紙を積極的に利用しましょう。

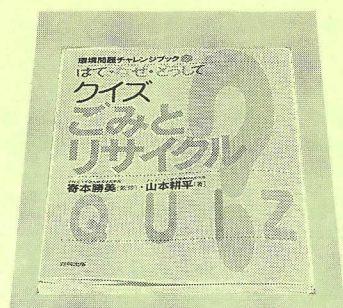
サイズ	1ケースの入数	規格	10ケース以下	11ケース以上
シングル(芯なし)	(1ケース8パック/1パック6ロール) 48個	130m	1ケース3,360円	1ケース 3,000円

* 上記価格は、1回のご注文につき1ケースあたり(各種・各サイズ込み)の価格です。消費税が別途かかります。
* 配送は、受注後2~3日以内(土・日は除く)。送料は無料です。10ケース以上のご注文については、別途ご相談ください。



環境問題チャレンジブック②

はて・なぜ・どうして クイズごみとリサイクル



寄本勝美【監修】 山本耕平【著】
1997年 合同出版 1200円（税別）

リサイクルデザインフォーラムのコーディネーターとしてみなさんおなじみのダイナックス都市環境研究所の山本耕平氏が書いた『クイズごみとリサイクル』は、環境問題をクイズ形式にした本となっています。

中学・高校生にもわかりやすいように書いてあるし、最新情報も載っています。クイズに関連した「はみだし情報」として、ゴミ・リサイクル問題についてのヒントが添えられているのも特徴です。

クイズの内容は、「日本の紙の消費量は世界で何番目でしょう」という問題に、ア.第2位、イ.第3位、ウ.第4位のどれが正解かというような

もの。このクイズの答えはウです。

クイズの横にはみだし情報として、一人当たりの紙の年間消費量が、1位アメリカ332キロ、2位フィンランド304キロ、3位ベルギー256キロというような数字や、中国は生産量では3位だけでも消費量は10位以下、というような細かいデータも載っています。

学校の授業でこんなテストが出ていたらもっと早く環境問題に関心を持ったのにと思いました。

クイズは全部で42問あり、最終ページには採点表もついています。ちなみに私は完璧までいきませんでした。まだまだ勉強不足です。

（ドナルド）

じょうぶで質の高い紙を使い、表面を何層ものプラスチックフィルムで保護して作る牛乳パックは、軽くて運搬しやすいため、大量に使われています。上質のパルプを使っているのも、再生紙の原料として人気がありますが、その回収率はまだまだ低いのが現状です。全国牛乳パックの再利用を考える会（パック連）の調査によると、平成九年度の回収率は二三％でした。それでも、年々少しずつ回収率は増えているそうです。

牛乳パックは主にトイレッ トペーパーの原料として使われています。これまでは牛乳パックだけでトイレットペーパーを作ることではできなかったのですが、九月に牛乳パック一〇〇パーセントのトイレットペーパーが製品化されることになりました。牛乳パック六枚から、トイレットペーパーが一個できるそうです。洗って切り開いて乾かして回収に出す。この手間を面倒とするか、わずかと考えるか。牛乳パックを資源として生かすのは、気持ちの切り替え一つのように感じます。

6枚で1個

この数字 なんだ？



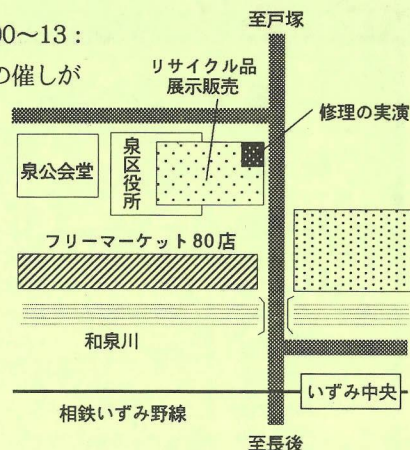
リサイクルデザインは次の所にもおいてあります

マルエツ井土ヶ谷店／イトーヨーカ堂上永谷店／相鉄ローゼン大口店／神奈川銀行瀬谷支店・本牧支店

■いずみリサイクルフェア '98

湘南骨董蚤の市(40店)・フリーマーケット(80店 10:00~13:00)・リサイクル品の展示と販売・修理の実演コーナーなどの催しが行われます。雨天の場合中止。

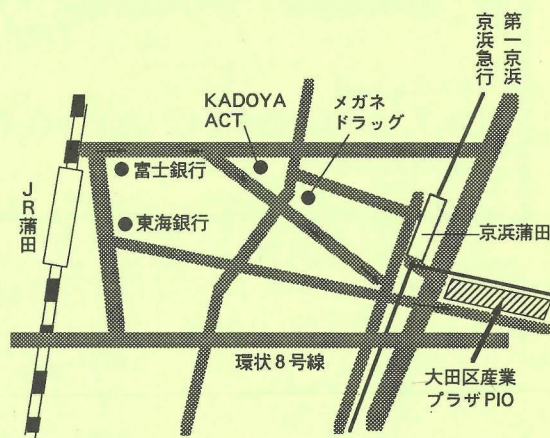
- 日時 9月19日(土) 10:00~15:00
- 場所 泉区役所一階区民ホール・区民広場及び区役所横和泉川沿いブロード・地蔵原の水辺
- 主催 いずみリサイクル促進事業実行委員会／泉区減量化・リサイクル推進協議会
- お問い合わせ 泉区役所 街の美化担当
☎045・800・2398



■世界護美箱事情講演会

以前リサイクルデザインのおすすめ本としてご紹介した「世界護美箱事情」の著者 中村哲子さんのスライドセミナーが、東京都大田区で開催されます。スライドと写真で世界の護美箱事情を知る機会です。この催しは大田区の衣食住エコロジーフェア(新生活見本市)の一環として行われます。

- 日時 9月20日(日) 14:00~15:00
- 場所 大田区産業プラザPIO
JR蒲田駅・京浜急行 京浜蒲田駅
- 主催 大田区・大田区産業振興協会



■リサイクルデザインがNTTのホームページ「ちまたネット」に登場!

昨年、リサイクルデザインは、第13回NTTタウン誌フェスティバル特別賞をいただきました。NTTでは7月22日、インターネットタウンページ上に受賞誌の内容を紹介する「ちまたネット」を開設、リサイクルデザインも登場しています。下記のアドレスに、アクセスしてみてください。

- ちまたネット <http://townpage.isp.ntt.co.jp/ntt/TOPICS/chimata/>

リサイクル標準価格表

平成10年7月現在

品名	買入価格*	業者の売値 7/30日経新聞より
新聞	1kg ** - 1円	1kg 2~3円
雑誌	1kg ** - 5~ - 2円	1kg 0~ - 5円
段ボール	1kg ** - 3円	1kg 2円
衣類くず	1kg ** - 3円	1kg 4~5円
アルミ缶	1kg *** 10~20円	

*集団回収には「買入価格」が適用されます

**有償となります

***スチール缶などと選別してある場合の価格です

★この価格は500kg以上集団回収する団体のみに適用されます
また取引条件により、多少の変化があります★事業所から発生したものは、集団回収の対象になりません
事業所ごとに、業者と直接ご相談ください★集団回収以外の段ボールの回収には、1回3,000円以上の
手数料がかかります

★段ボールは必ず束ねて出してください

オフィス古紙 共同回収	アルミ缶 店頭回収	横浜橋通商店街 段ボール回収	県機関 古紙回収事業
			
'98.6	'98.6	'98.6	'98.6
参加企業12社	市内スーパー等 102店舗		118か所
14,710kg	54,665kg	10,770kg	131,580kg
回収地域は横浜駅西口・ 新横浜の2か所	2,980,000缶		

ほとんどの地域で、月に一度、新聞販売店が紙袋（またはビニール袋）を置いていきます。この袋に新聞をためて、そのまま月一度の回収に出す家庭がほとんどではないかと思えます。ところがこの袋、実は新聞を回収に出すための袋ではなく、保存するための袋です。よく見ると、「新聞が保存できます」というようなことが、袋に明記してあるのです。

読売新聞の場合、「袋がいっぱいになったら取り出し、新聞・チラシ・雑誌などに分けて下さい。それぞれをヒモで十字にしばって、回収に出しましょう」という注意書きが添えられています。

では、なぜ袋に入れて出すのはよくないのでしょうか。紙の袋の場合、袋を作るためにのりが使われていることが問題となります。のりが混ざると、質の良い再生紙ができないからです。また、ビニール袋の場合は、問屋に持ち込まれた後、業者が手作業でビニールから出さなくてはならず、非常に手間がかかるためです。他の回収のようにヒモで結んだだけなら、作業は簡単です。中には、回収した後ヒモを切らなくてもいいように、新聞同様に溶けるヒモが使われている地域もあるそうです。そのようなヒモが早く普及すると良いのですが…。

新聞を回収に出す時の基本は、まずしっかり分別すること。そして、袋に入れずヒモでしばって出すということを心掛けましょう。

リサイクル
ワンポイント
講座

月刊 リサイクルデザイン
No.48 (Vol.5)

発行日 1998年8月15日

発行人 中野聡哉

編集人 宗村隆寛

発行所

横浜市資源リサイクル事業協同組合
〒220-0023

横浜市西区平沼1丁目33番1号

東洋建物横浜ビル5階

TEL & FAX 045・316・5122

スタッフ

山岡秀明・武松昭男

杉山宜利・竹澤留美

ライター

島秀子・高橋由紀

イラスト いとうみき

編集・制作 よしのたかこ

印刷 オリジナルプランニング

編集後記

♥最近、再生品の文房具をいろいろ見かけます。メーカーも結構考えているようで、なかなかデザインがかわいかったりします。鉛筆の軸に古紙を入れたり、ボールペンや筆箱に、プラスチックやベトボトル、トレーなどが使われています。買う時にちょっと気をつけて見ると、実は再生品っていっぱいあるんですね。（ دونالد ）

□おわびと訂正□

リサイクルデザイン前号（No.47）だいちえこさんの投書に印刷ミスがありました。2段目9行目「不燃物」は、正しくは「不純物」です。

バックナンバー差し上げます。

送料のみご負担ください。

お申し込みは電話で。

☎045・316・5122 担当竹澤

“リサイクルデザイン Club”
会員募集

月刊リサイクルデザインは、市内の一部の区役所・地区センターで無料配布していますが、会員として定期購読して支えてくださる方も募集しています。ご希望の方は、1年分1,000円（郵送料相当）を郵便局の振替用紙を使ってお振込みください。

口座番号 00210-3-64725

加入者 横浜市資源リサイクル事業協同組合
お届けは毎月20~23日。特にご指定がなければ、最新号からお送りします。

また、イベントなどについての情報を、別途お知らせします。